

(概要版)

# 人権感覚に支えられた学級集団の育成

—「心の栄養」が仲間関係修復のパワーを引き出す、人権感覚育成プログラムの作成・実践を通して—

## 現状と課題

長期研修員 河原 賢志

核家族の増加、  
進む少子化傾向

**人間関係づくり**  
ができていく環境。

地域社会との関係希薄化

児童虐待の  
増加傾向

人権感覚が身に付きにくい

ネットによる  
誹謗中傷被害

後を絶たない  
いじめ問題

感情のコントロールができない

嫌がっていることが分からない

人権感覚を上げていくための手立てが必要

## 研究の内容

### 人権感覚育成プログラム

〈小学校第6学年の実践〉

#### 特色1

人権感覚を二つの側面からとらえたプログラム

##### 人権感覚A

人権が守られ実現されている  
状態を望ましいものと感じる感覚

兼ね  
備えた  
もの

##### 人権感覚B

人権が侵害されている状態を  
許せないものとする感覚

A・Bの両面を計画的に指導→人権感覚が身に付く

#### 特色2

構造的指導を生かしたプログラム

構造的指導…全教育活動で人権教育を進めるための視点

- ① 常時指導 …児童生徒が学校で過ごすすべての時間における指導
- ② 間接的指導 …人権を尊重した生き方ができるための能力・態度を育成するための指導
- ③ 直接的指導 …人権の意義や重要性及び人権問題についての指導

全教育活動を通して指導→人権感覚が身に付く

#### 特色1と特色2の関係

第1時・学活・ **人権感覚A** を高める指導  
「大切にしているもの」(自己開示・他者理解)

第3時・学活・ **人権感覚A** を高める指導  
『心の栄養』を考える」(温かい言葉・好意的なしぐさ)

第2時・学活・ **人権感覚A** を高める指導  
「人の話はどこで聞く?」(傾聴)

第4時・学活・ **人権感覚B** を高める指導  
「ナカマツテナンテスカ?」(仲間関係の理解)

第5時・学活・ **人権感覚A** を高める指導  
「自分も相手も大切に言う言い方」

第6時・学活  
**人権感覚B** を高める指導  
「いじめが起こったら  
～君には何ができますか～」  
(修復的思考)

**人権感覚A** を高める指導  
『心の栄養』を送り合う活動」

人権教育の  
構造的指導

直接的指導

常時指導

間接的指導



自己開示・他者理解

第1時・学活  
〈間接的指導〉  
大切にしているもの

大切にしているものを、友達と紹介し合いました。自分が大切にしているものを相手に「分かってもらえたらうれしいな」という気持ちに、相手の子が「分かって」とする気持ちで応えました。二人の思われ共通点が見つかることもありました。



大切にしているものが分かち合えたとき、とてもうれしかったです。

〔大切にしているものを伝え合う活動〕

バット  
賞状  
ゲーム

家族  
命  
健康

もらった手紙  
うれしかった  
言葉

賞状を大切にしていると聞いて、野球が好きなんだなと思いました。



第2時・学活  
〈間接的指導〉  
人の話はどこで聞く？

聞き方によって、話し手が受ける印象は大きく変わります。今回は、○話し手を見ず、何も言わずに聞く。  
○うなずきや、間の手を入れて聞く。  
○ほめ言葉を入れて聞く。 の三つを体験しました。



傾聴



話す・聞く活動

〈事後の児童の感想〉



うなずいてくれるとほのこを分かってもらえた気がしてうれしかったです。

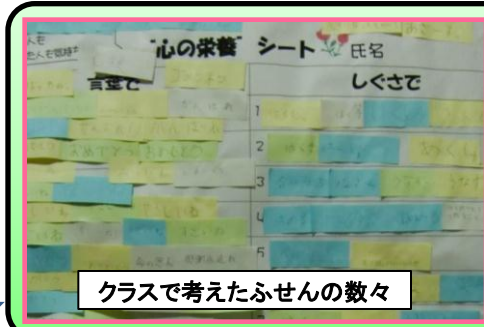
自分の気持ちと相手の気持ちをしっかり考えて話ができるようになれたらいいなと思いました。



温かい言葉・好意的なしぐさ

第3時・学活  
〈間接的指導〉  
「心の栄養」について考える

「心の栄養」とは、「相手が温かい気持ちになったり、うれしくなったりする言葉やしぐさのこと」です。一人一人が考えてふせんに書き、一枚の紙にまとめて貼りました。これらの中から、自分ができそうなものを選び、ふだんの生活の中で実践します。温かい言葉やしぐさってたくさんあるんだなって気が付きました。



クラスで考えたふせんの数々

〈事後の児童の感想〉

こんな言葉を言ってもらえたら、うれしそうですねと思います。楽しみです。



アイスブレイキング



どの授業も、リラックスできるゲーム(アイスブレイキング)で始まります。気持ちがほぐれるので、授業の時も安心して自分の意見が言えましたよ。

仲間関係の理解

第4時・学活  
〈間接的指導〉  
ナカマツテ  
ナンテスカ？

宇宙人が地球の調査にやってきました。そして私たちにこう聞くのです。「ナカマツテナンテスカ？」  
子ども達は宇宙人への答えを一生懸命話し合いました。〈仲間とはいっしょに何かをする間柄の人たちのこと〉仲間である限り、「だれに対しても」「日ごろから」温かい人間関係を築くことを目指していくべきだと気付きました。

〔宇宙人の質問に対する子ども達の答えです〕



一人がトラブルにあえば、仲間がはげまし、必ず助けられます。

目標が達成できたときみんなで喜び合うことができることも大切なものです。



第5時・学活  
〈間接的指導〉  
自分も相手も大切に  
する言い方

相手にあやまって欲しいのに、あやまってくれないとあってありますよね。そんなとき、いつもがまんしてしまうのがいいことなんだろう。相手のことも考えながら自分の言いたいこともていねいに伝える。そんな言い方を考えました。考えたセリフはペアで役割演技をして(ロールプレイ)感想を伝え合いました。



ロールプレイ

〈事後の児童の感想〉

相手のことも考えながら話せるようにしたいなと思いました。

あまり下から過ぎたり上からだったりする言い方ではなく、対等に言えたらいいと思いました。



第6時・道徳  
〈直接的指導〉  
いじめが  
起こったら

「クラスにいじめがあることがわかったら、あなたは何かができますか」の問いに対し、グループで答えを出します。また、「その方法がうまくいかなかったらどうしますか」の答えも考えます。クラスの危機こそ、仲間としての力を発揮するときです。



話し合い

〈事後の児童の感想〉

先生に怒って欲しいわけじゃない。いじめてる子を早くやめさせて、みんなで仲良くなりたいと思います。

いじめてる子もいじめられてる子も、本当の仲間になれるようにしたいです。



常時指導

「心の栄養」を送り合う活動

④「心の栄養シート」に追加  
※②の活動へ続く

明日、一人ほっちのあの子に「遊ぼう」って声をかけよう!



第3時で学んだ「心の栄養」を、休み時間や掃除の時間などだれに対しても、日ごろから実践してみようというものです。



①「心の栄養シート」に記入

「心の栄養」シート		氏名
言葉で	しぐさで	
1	1	
2	2	
3	3	
4	4	
5	5	

「いいね」とか「ありがとう」なら言えそうだな。シートに書いておこう。



③「明日への栄養カード」に記入し、帰りの会で班のメンバーに発表する。

明日への栄養カード		氏名
1	CAUSE (原因) 解決策 (解決策)	
2	EFFECT (効果) 結果 (結果)	
3	FEELING (感情) 気持ち (気持ち)	
4	THOUGHT (考え) 考え (考え)	
5	BEHAVIOR (行動) 行動 (行動)	
前日	1-2-3	曜日 (曜日) (曜日) (曜日)
/		
/		
/		
/		

がんばってきたもんね。よかったね。



「陸上入賞おめでとう」って言ってもらえたよ。

②学校生活の中で実践

ありがとう!

元気になってよかったね!



〔実践できたことを記録した「明日への栄養カード」の内容から抜粋〕

〈第1週の記録から〉

- 算数の問題を友達に教えてもらった。
- マーチングの時に5年生から拍手をもらった。
- 登校中たくさんの人に「おはよう」と言えた。

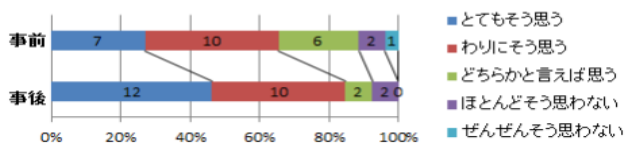
〈第2週の記録から〉

- 図書先生に「ありがとうございました」と言った。
- 一人にいる子に思い切って「こだいこやる?」って話しかけたら、うれしそうな顔で「やるやる」と言った。

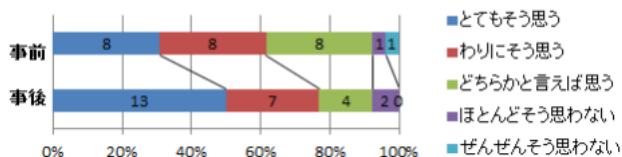
# 成果

## 学級の雰囲気(C&S質問紙)

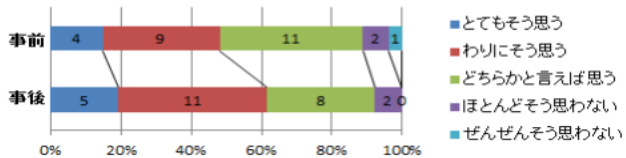
このクラスの人はみんなのことをよくしています



このクラスでは友達どうして相談し合います

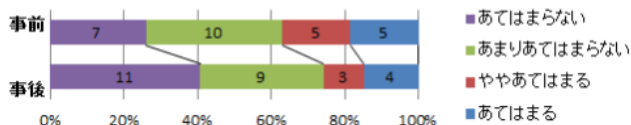


このクラスは新しいアイデアをやってみようとする

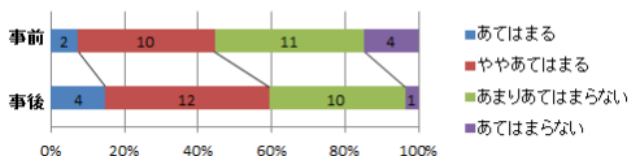


## 自己肯定感(C&S質問紙)

クラスみんなの前では、大変話しにくい

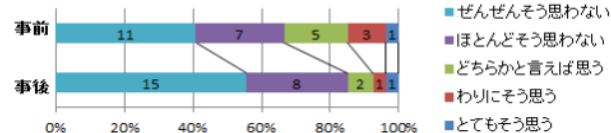


私は、あまりなやまずに決心することができます



## いじめに関する質問(C&S質問紙)

このクラスには、いじめがあると思います



### 《C&S質問紙の結果から》

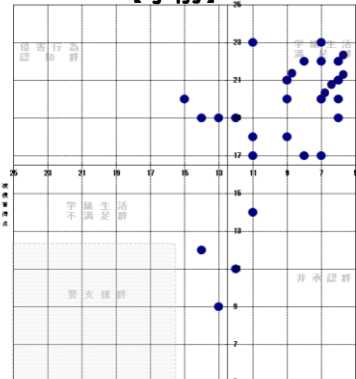
- 互いを理解し合い、話し合いができるようになった。
- 自己肯定感が高まった児童が多かった。
- いじめがあるという認識をもった児童が少なくなった。

### 《Q-Uの結果から》

- 「いやなことを言われる」「からかわれる」「ばかにされる」などの質問項目で得点の減少が見られた。侵害得点(侵害されている意識)が軽減された。

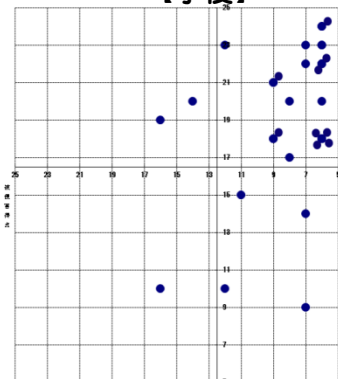
## 楽しい学校生活を送るためのアンケート(Q-U)

【事前】



承認得点平均 18.9  
侵害得点平均 9.2

【事後】



承認得点平均 19  
侵害得点平均 8.3

### 《実践後の生徒の変容》

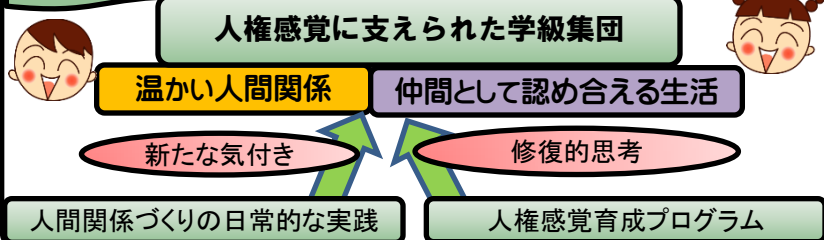
(担任の見取り)

- 友達に対する見方を、意識的に変えてみようとする児童が出てきた。
- 休み時間など、一人でいる子に対して声をかける姿が多く見られるようになった。
- 互いをほめる言動が増え、否定的な言い方が少なくなった。
- 不適切な行動に気付くと、そのままにせず、教師に相談したり、本人に上手に伝える姿が見られるようになった。
- 学年行事では、運動が苦手な子に対しても、よく応援をし、頑張りをたたえ合うことができた。

## 課題

- 人権に関する問題は、個人的な事情を含む場合が多い。子ども達の意識や感情を十分に汲み取りながら、学級の実態に応じたプログラムを用意する必要がある。
- 縦割り活動や登校班などを含めた常時指導を充実させ、教師と児童の人権感覚を学校ぐるみで高めていく必要がある。

## まとめ



問い合わせ先 群馬県総合教育センター  
担当係: 生徒指導相談係

0270-26-9217(直通)